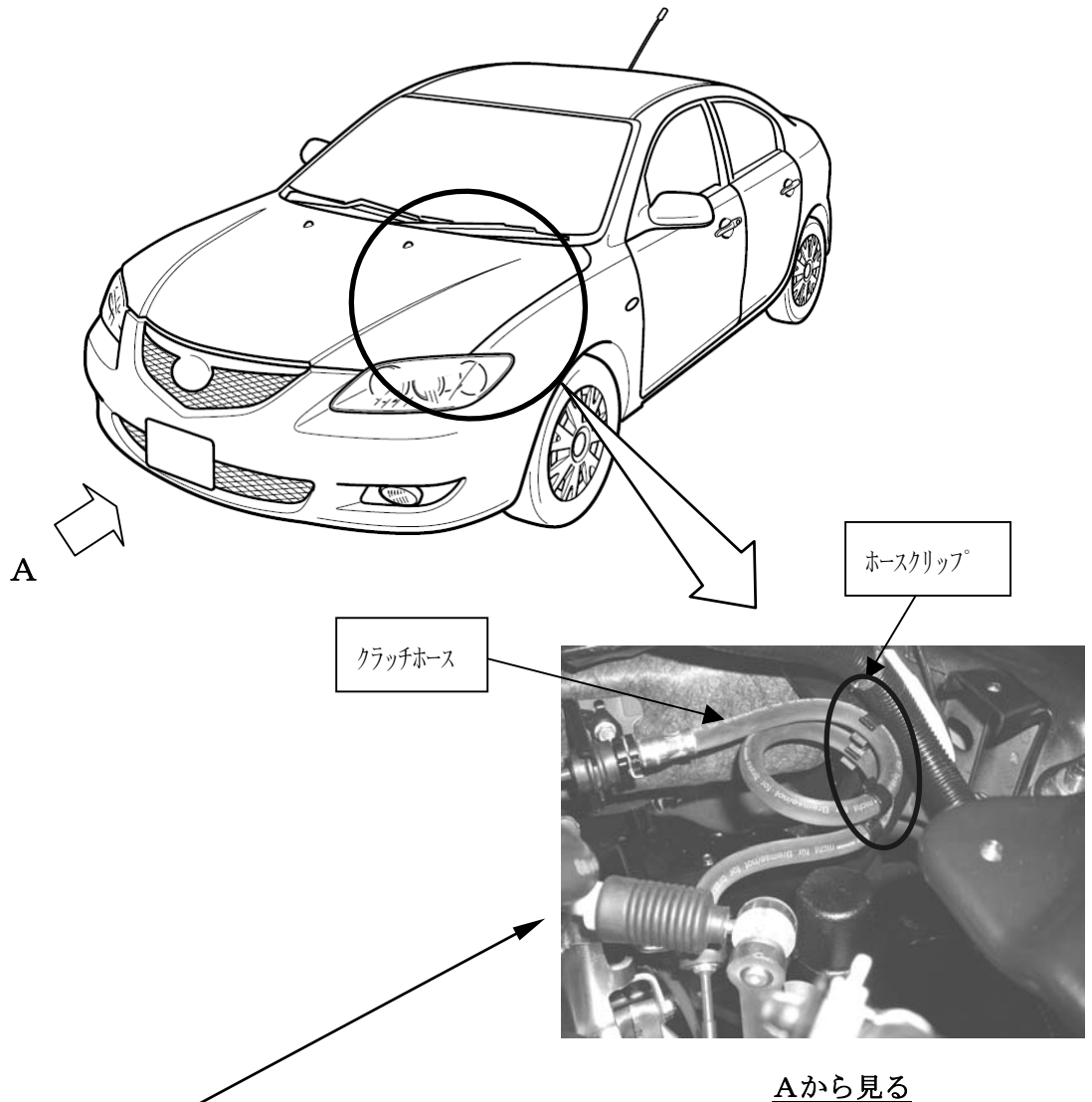


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

教習車において、クラッチホースを束ねているクリップの形状が不適切なため、クラッチ操作時のホースの膨張収縮により、クリップが変形するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースが周辺部品と干渉し、損傷して液漏れが発生することがあり、最悪の場合、クラッチが切れなくなり、走行不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、ホースクリップを対策品と交換するとともにプロテクタをクラッチホースに取り付ける。また、クラッチホースが損傷している場合は、当該ホースを新品と交換する。

注：□は交換部品を示す。

識別：クラッチペダルに黄色ペイントを塗布する。